

びんリユース推進全国協議会 ■ 主催シンポジウム

生活クラブ生協による びんリユースの取り組み



2023年3月23日（木）

びん再使用ネットワーク 事務局長
生活クラブ連合会 企画部 S R 推進課
山本義美

【生活クラブ生協】

首都圏と関西を中心に、北海道から兵庫県
まで、約41万世帯の組合員が集っています。

本日のポイント

1. はじめに
2. 環境省のデータで見る、ごみ問題の推移
3. ごみ問題解決のため、
生活クラブ生協は、ガラスびんのリユースを開始
4. 生活クラブ生協による、びんリユースの成果
5. おわりに

はじめに

- ▶ 1970～80年代に大量生産・大量消費・大量廃棄による「**最終処分場**」の**ひっ迫**が大きな社会問題になりました。
- ▶ これを解決するため、生活クラブ生協では、1991～93年に組合員リーダー参加によるプロジェクトを立ち上げ、ガラスびんを繰り返し使うこと(GS)を選択しました。
- ▶ **他方、国は、リデュース・リユースではなく、容器包装リサクル法で税金を使ったリサイクルを進めようとしたため、残念ながら、日本の3Rはあまり進んでいません。**
- ▶ GSは、30年前に組合員の直感で選択したのですが、今日のSDGsに先じた取り組みであり、**未来につながる“暮らし方の提案と実践”**と言えるのではないのでしょうか。

戦後の 高度成長により

大量生産・大量消費・大量廃棄

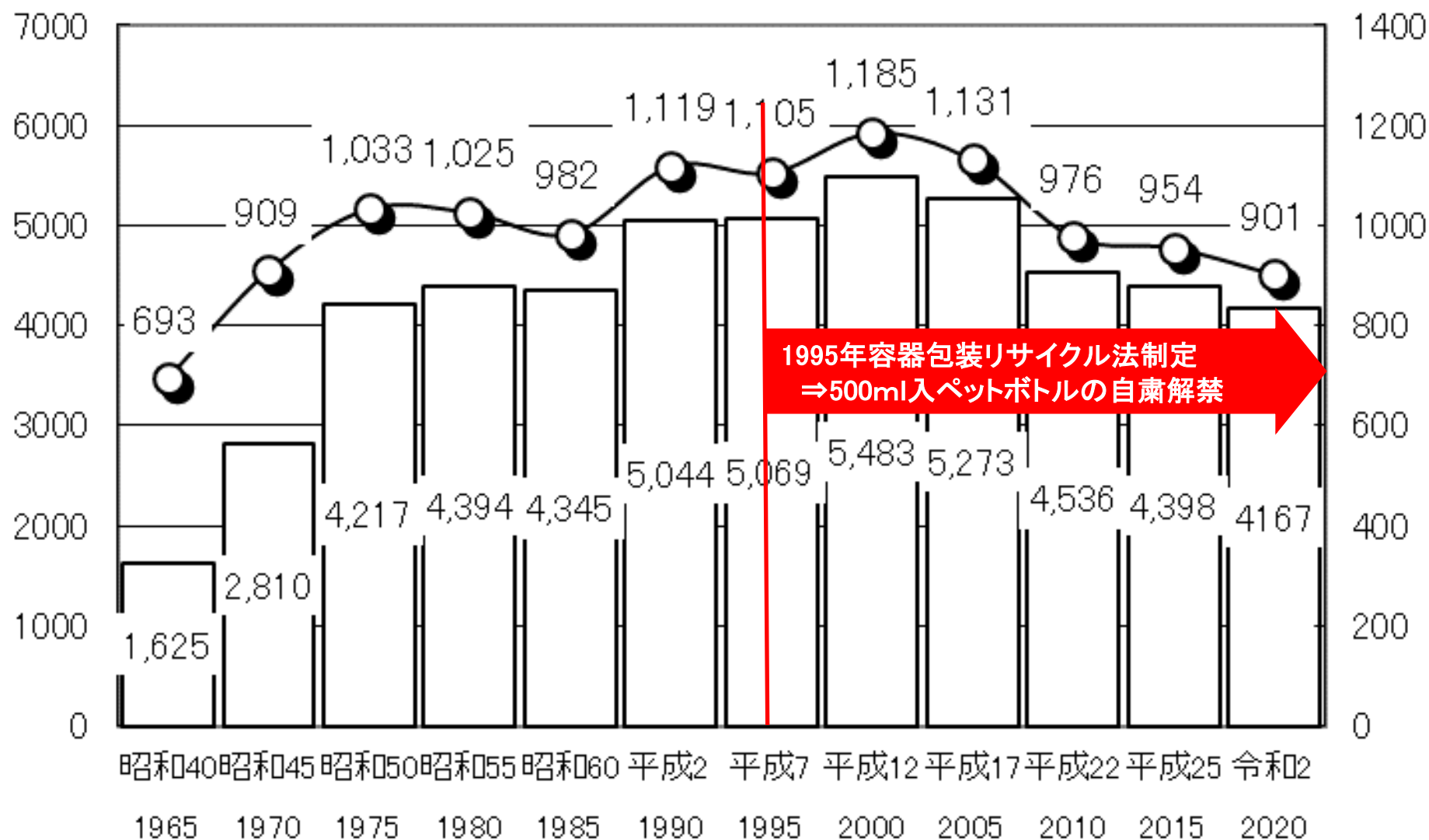
万t

一般廃棄物総排出量(万t/年)

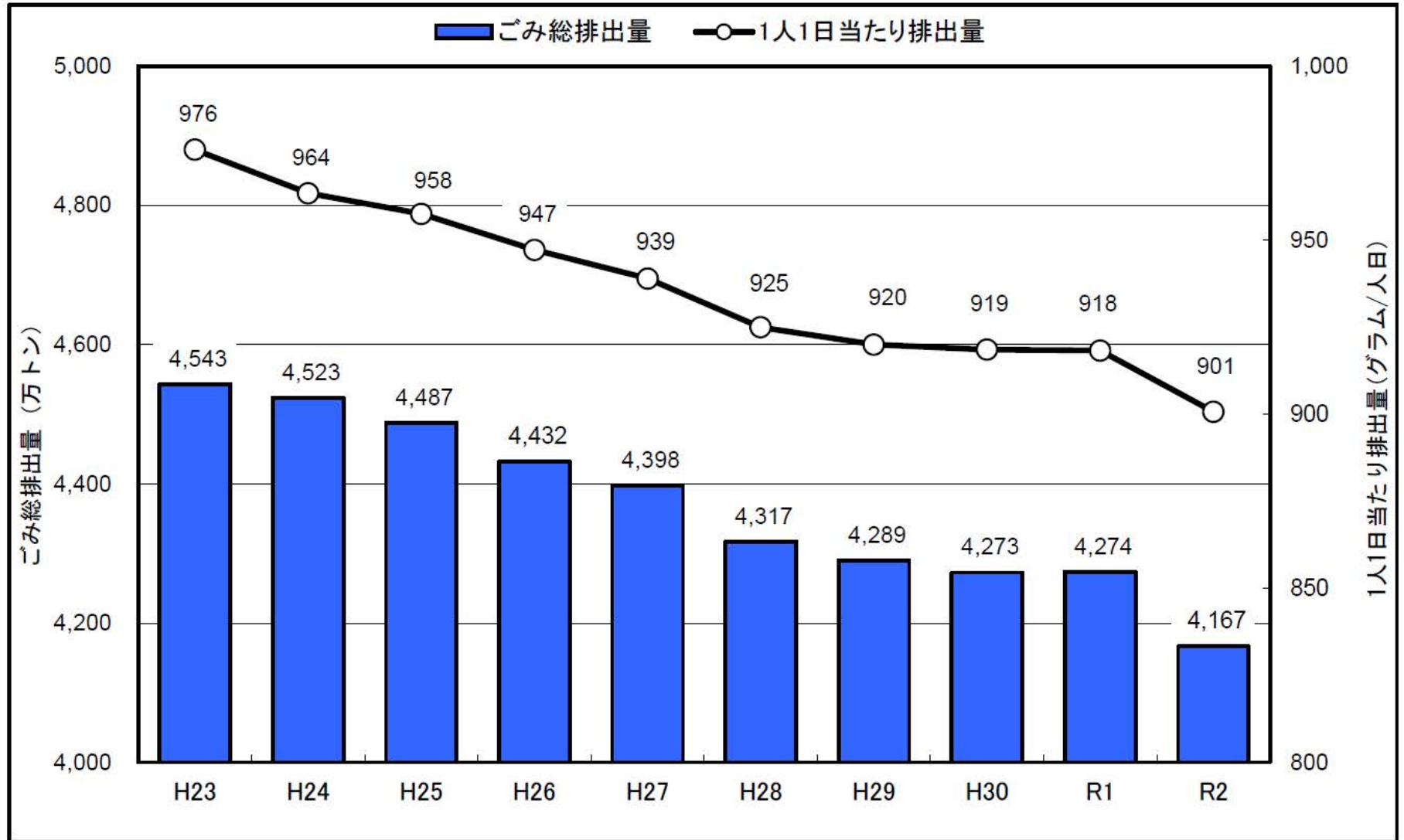
環境省データより作成

g/人日

一人一日当たり排出量推移(g/日)

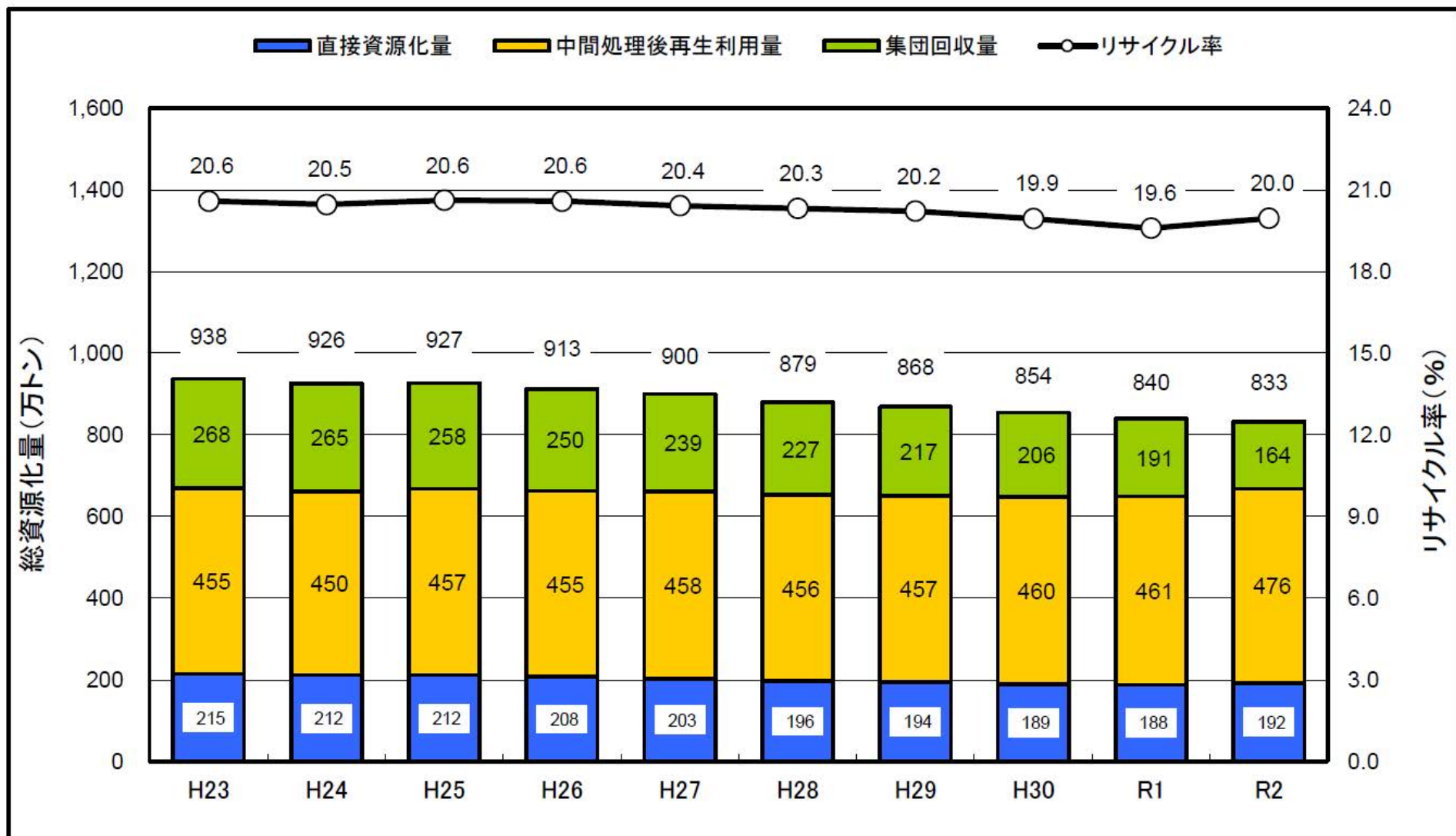


ごみの減り方は少しずつでしかない



図－1 ごみ総排出量の推移

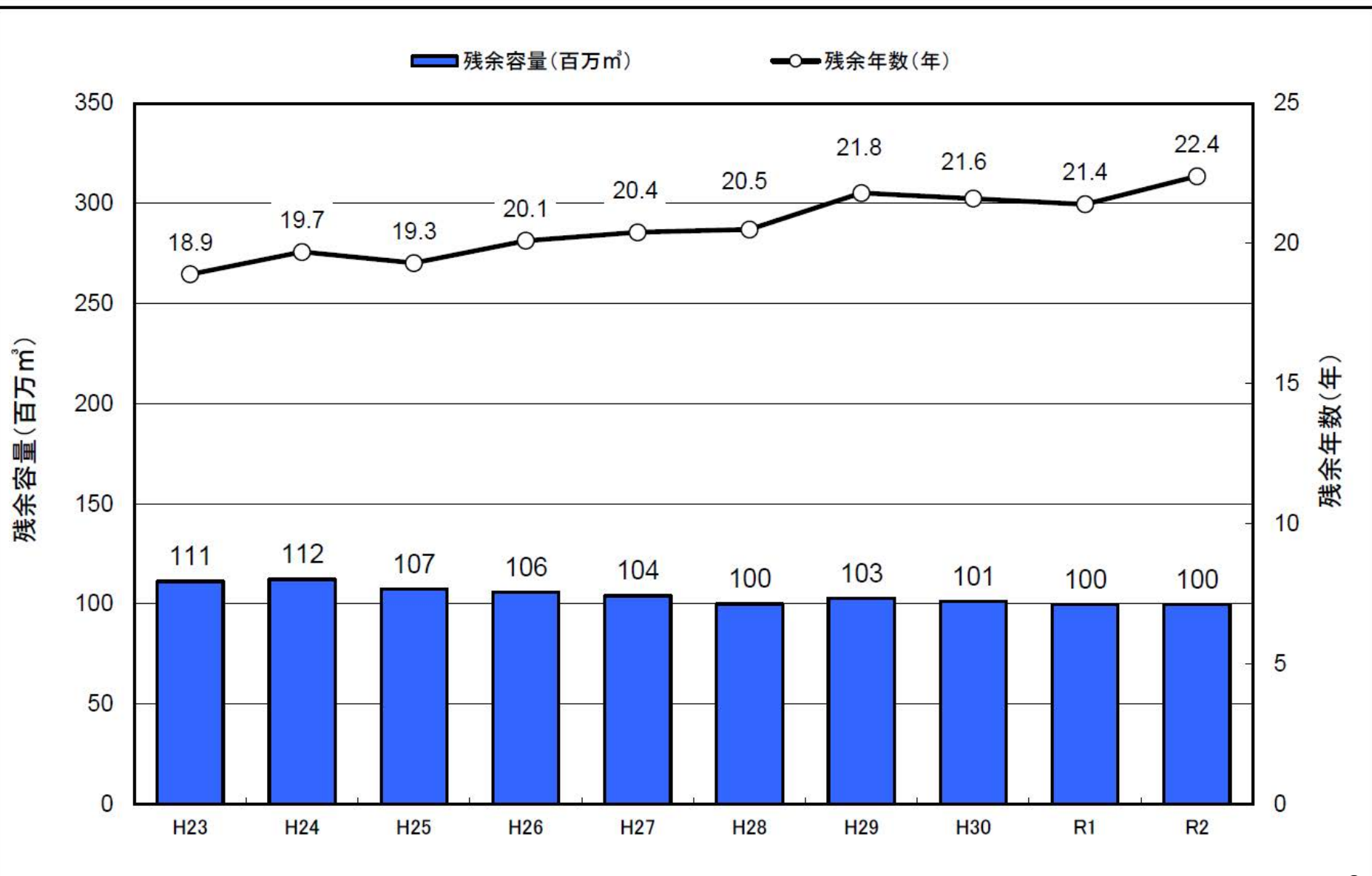
リサイクル率は低迷したまま



図ー7 総資源化量とリサイクル率^{注10)}の推移

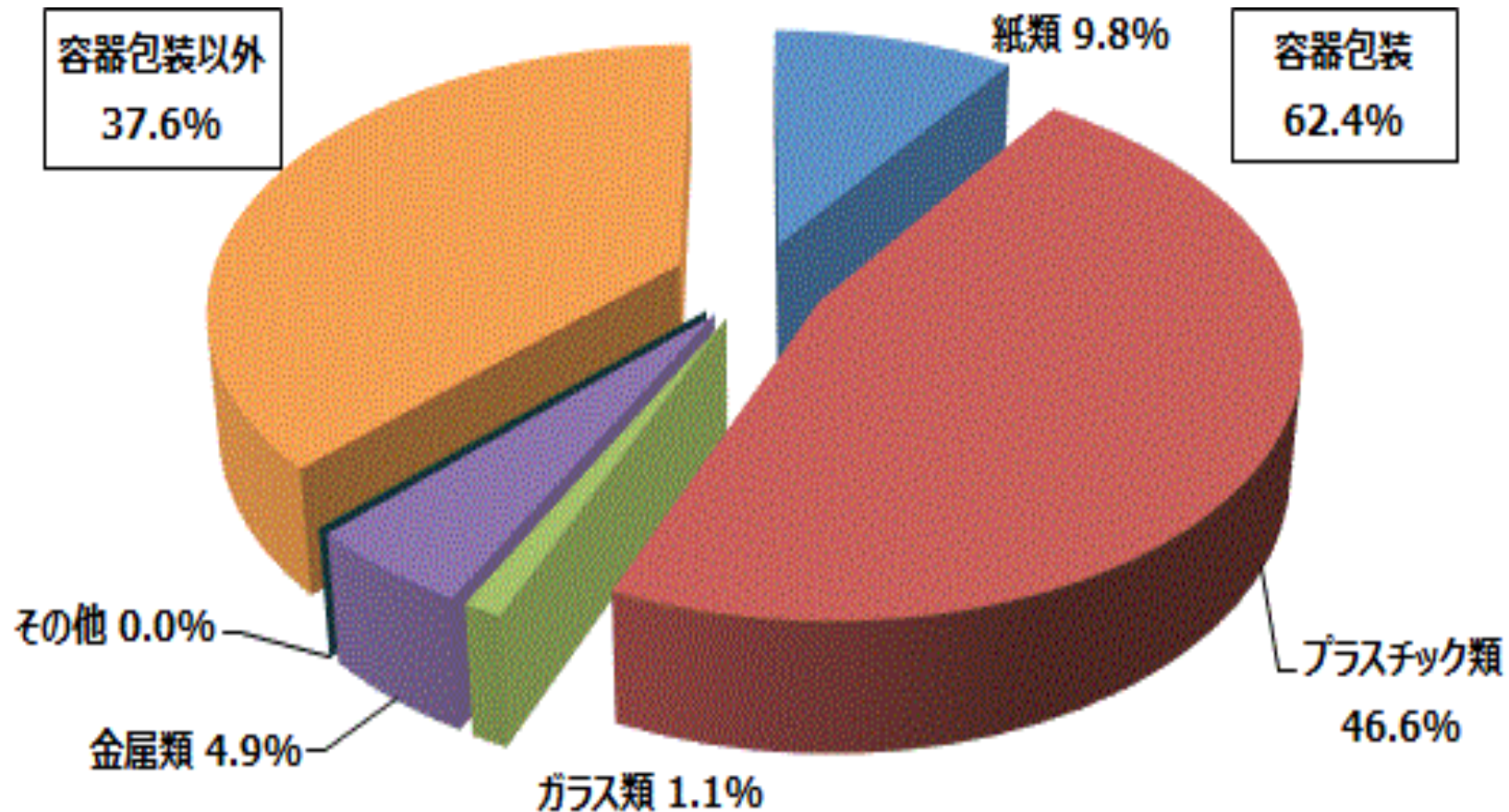
→OECD平均リサイクル率40%。 ドイツ64%、韓国58% …… 米国36%。

最終処分場は、厳しい状況が続く



図－１７ 一般廃棄物最終処分場の残余容量と残余年数の推移

家庭ごみは、容器包装が6割



環境省調査2018年度

**品質保持に優れる
ガラスびんを優先した
生活クラブ生協では**

容器は、ガラスvsプラスチック



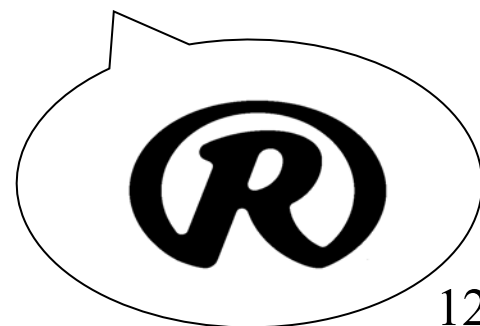
素材出典：日本容器包装リサイクル協会

生活クラブはグリーンシステムを開始

- ▶ 1993年、ごみ問題を解決するため、**組合員の直感**で、ガラスびんを繰り返し使うことを選択。
- ▶ 1994年全体開始（神奈川・北海道は1993年11月先行）。

GARBAGE REDUCTION FOR
ECOLOGY AND EARTH'S NECESSITY

- ▶ 最大の特徴は、**効率を高める規格（形）統一**
- ▶ **2000年、牛乳を紙から、びんへ**



Actions based on EPR

One-way Bottle



Achieving Standardization

With standardized bottles (bottle shapes) used for recycling, members of Cooperative Network for Distribution of Returnable Bottles have managed to greatly increase collection, cleaning, and sorting efficiency, a problem that often plagues conventional recycling efforts.

The diagram below displays one example of how bottles are used by one Cooperative. Examples such as this are gaining popularity, with further member increases and greater standardization expected.

Standardization



【規格統一】

日本独自の一升びんのしくみを、調味料やジュースなどに導入して、**回収・選別・洗浄**の効率を飛躍的に向上しました。

68品目が、**6分別で**済んでいます！

びんの肩や裾に、「R」マークを刻印。

㊿びん消費材一覧

2020年3月現在

このびんはリユースする㊿びんです。
生活クラブの配達時やデポーに返却してください。

※包装材料ラベルやキャップは変更になることがあります

900ml



丸大豆醤油 丸大豆醤油 (自然重れ) 国産丸大豆醤油濃口 万能つゆ 白だし 三河本みりん 河内晩柑ドリンク ぶどうドリンク 温州みかんジュース (濃縮還元)

350ml
UDびん



マヨネーズ トマトケチャップ いろいろ使えるトマトベース トマトたっぷりピザソース トマトとマスクットのケチャップ 関西濃厚ソース



いちごジャム マーマレード りんごジャム ブルーベリーソース ジェニユインディルピクルス 小梅干し

500ml



国産丸大豆醤油 丸大豆うすくち醤油 万能つゆ だしから取った濃縮つゆ 白だし みりん風醸造調味料



食酢 純米酢 調理用合わせ酢 純りんご酢 純玄米黒酢 はちみつ黒酢ドリンク



温州みかんジュース 梅ドリンク ぶどうジュースコンコード 無添加赤ワイン

360ml



中濃ソース



とんかつソース



ウスターソース



タイハイ
丸大豆
減塩しょうゆ



白だし



そばつゆ



ポン酢
しょうゆ
(ゆず)



ゆず香る
さっぱり
ポン酢



塩ぽん酢



すし酢



焼肉のたれ



すき焼き
のたれ



ごまだれ



キムチ鍋
つゆ



ワイン
ヴィネガー
(白)



しょうが
シロップ

200ml 中口



えのき茸
茶漬



五目ずし
の素



きのこ山菜
炊込み
ご飯の素



和風きのこ
ソース



のり佃煮



しそひじき
ふりかけ



あみえび
ふりかけ

200ml
ドレッシング
びん



イタリアン
ドレッシング



にんにく
しょうゆ
ドレッシング



しょうゆ
ドレッシング



カロリー½
オニオン
ハーブ



生姜
ドレッシング



ノンオイル
青じそ
ドレッシング



胡麻
ドレッシング



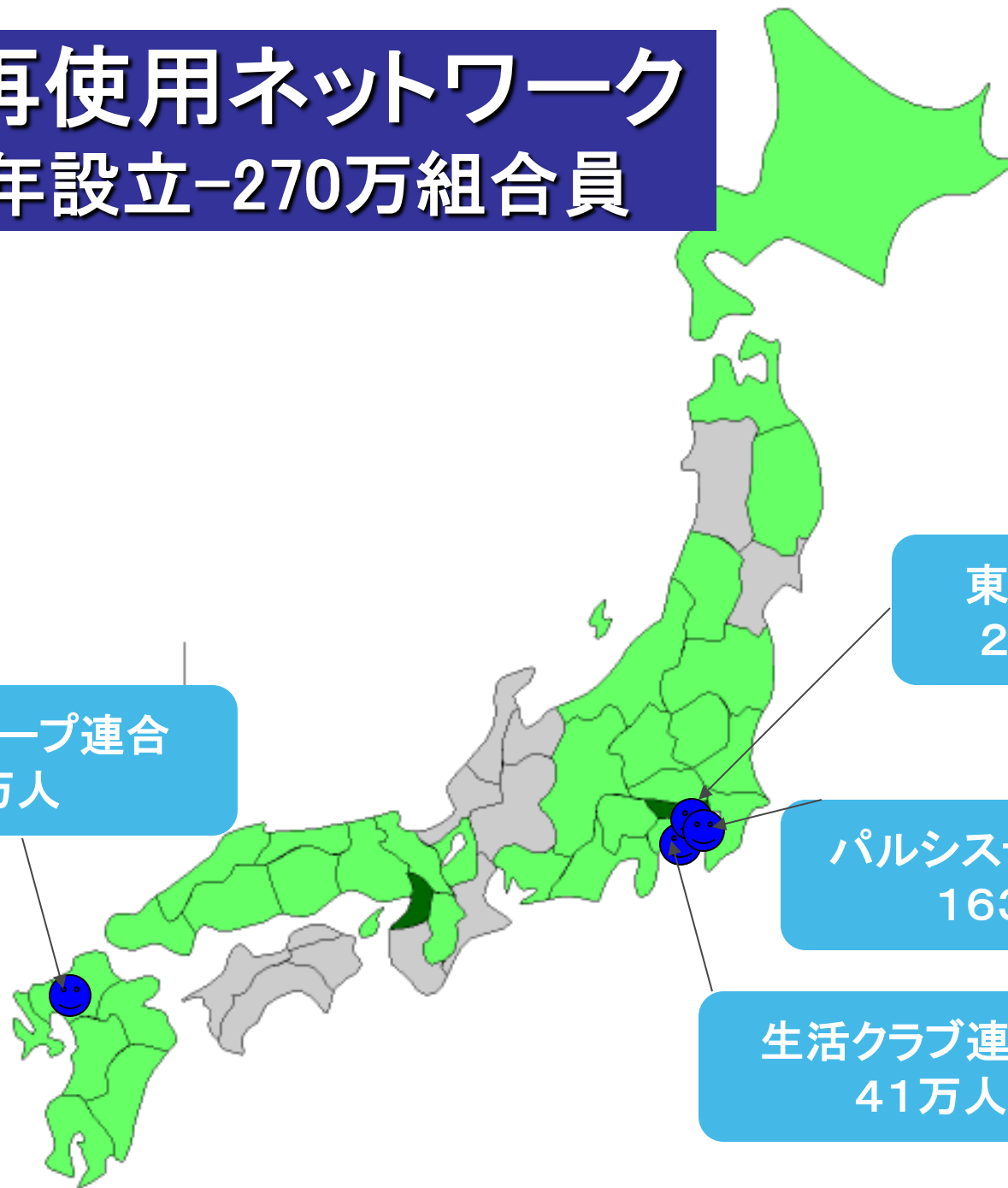
シーザー
サラダ用
ドレッシング

びん再使用ネットワークへの拡大

- ▶ この取り組みを社会に広げてごみ問題の社会的な解決を進めるため、1994年にパルシステム連合会やグリーンコープ連合、東都生協とともにびん再使用ネットワークを設立しました。
- ▶ 現在、全国で約270万世帯の組合員がRびんのリユースに取り組んでいます。1994～2021年度のびんネット全体の累計実績では、3.9億本を供給し、2.6億本を回収、回収率は66.9%になりました。
(生活クラブ生協では、1.9億本で1.3億本回収、71.6%)
- ▶ 残念ながら、一般の社会ではリユースびんが減ってしまいましたが、SDGsの時代になり、LOOPや足柄聖河が登場するなど、ようやく見直され始めています。

びん再使用ネットワーク

1994年設立-270万組合員



グリーンコープ連合
42万人

東都生協
25万人

パルシステム連合会
163万人

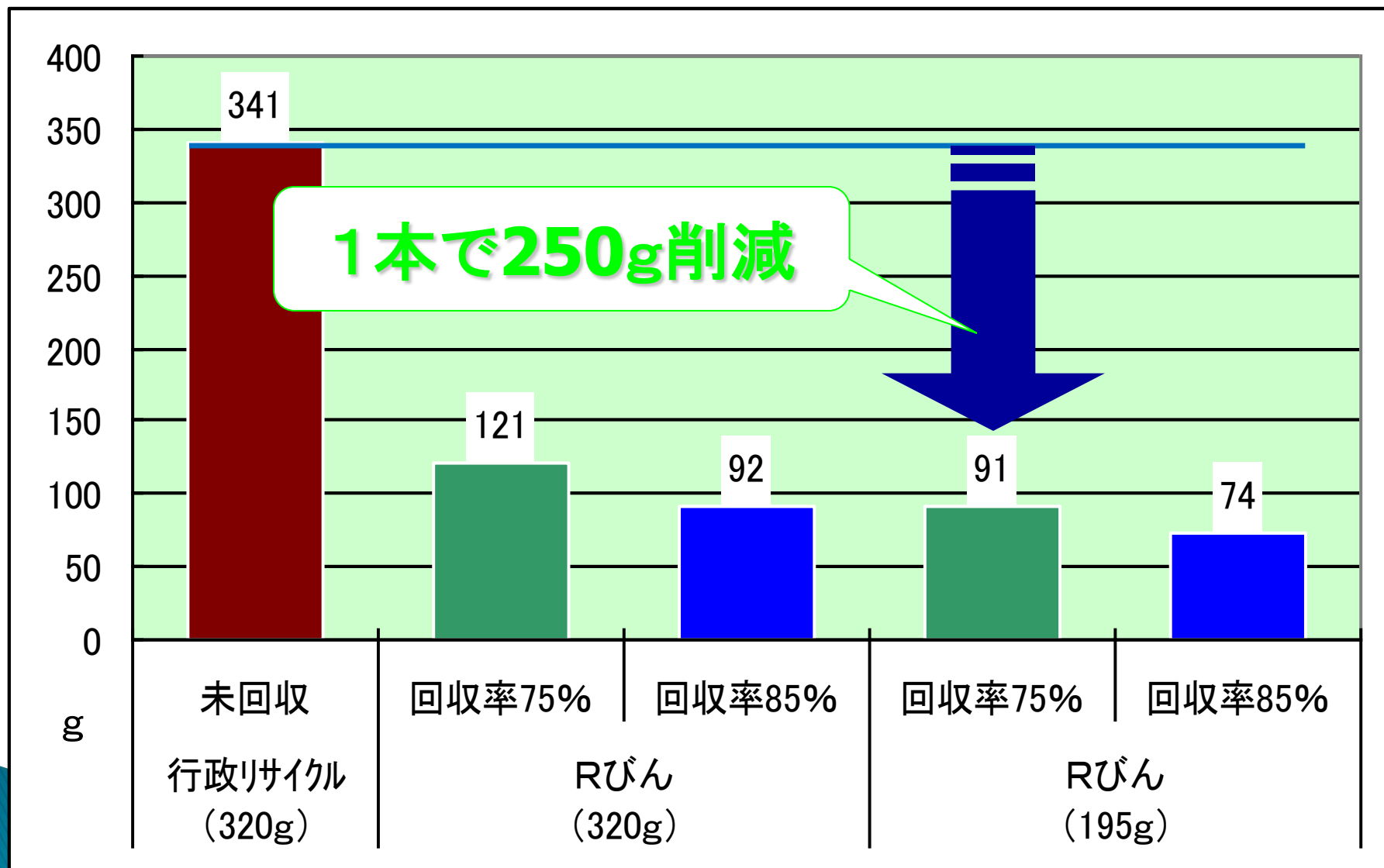
生活クラブ連合会
41万人

ライフサイクルアセスメント で明らかにになった 環境に良いリユースびん

ライフサイクルアセスメント (Life Cycle Assessment)

資源の採取から製造、輸送、販売、廃棄、リサイクルまで、
すべての段階での環境負荷を総合した評価のこと。

CO₂削減の数値(Rびんの場合)

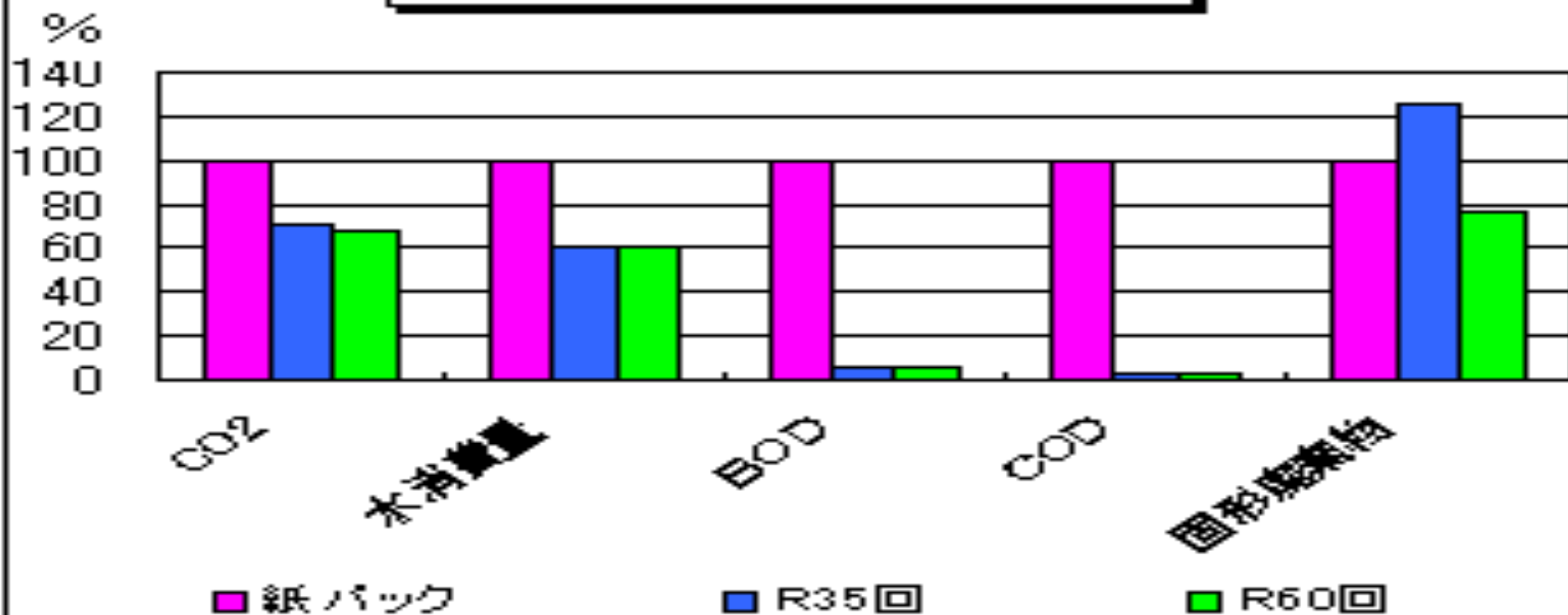




1本で35gを削減



紙パックとビンとのLCA比較



生活クラブのびんリユースの成果

—2021年度実績—

- ▶ Rびんと牛乳びんで、**4199t**の容器資源を回収しました。
→**4199t**は、ジャンボジェット(350t/機)12機分と同じ。
- ▶ びんをリサイクルした場合と比べた**CO₂**の削減効果は、**2016t**になりました。
→**2016t**の**CO₂**は、東京ドーム(124万m³)とほぼ同じ大きさ。
- ▶ 自治体の収集費用は、**2.5億円**を節約しました。
(廃棄物会計調査により、ガラスびんの収集費は平均5.9万円/t)

グリーンシステムが、2018年11月 環境省グッドライフアワード受賞

https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/report201805-coop.html

できるだけごみを出さない
暮らしが、環境保全に
大きく貢献しています。

生活クラブでは「できるだけごみを出さない暮らし」のために、1994年から「グリーンシステム」に取り組んでいます。容器包装ごみを減らすために調味料や牛乳などのガラスびんの規格を数種類に統一して回収・再使用するしくみで、Garbage Reduction for Ecology and Earth's Necessity（地球生態系のためのごみ減量）の頭文字GREENから名付けられました。これまで25年にわたり、おおぜいの組合員が「グリーンシステム」に参加してきました。



「グリーンシステム」が、環境省グッドライフアワードを受賞！



環境省グッドライフアワードは、「環境と社会によい暮らし」に関わる活動を応援するプロジェクトです。社会をよくする取組みを「環境大臣賞」として表彰、広く発信して、ひとりひとりがライフスタイルを見直すきっかけになることを目指しています。「グリーンシステム」はこれまでの取組みと実績が評価され、2018年11月に「第6回 環境省グッドライフアワード環境大臣賞(NPO・任意団体部門)」を受賞しました。

グッドライフアワードのWebサイトで、活動が紹介されています



「グリーンシステム」の歴史やびんの回収に関わる人々について、動画とよみもので掲載されています。ぜひ、ご覧ください。



こちらからアクセス！

グッドライフアワード 検索

おわりに

- ▶ おいしい**食べものは、ガラスびん容器**に入っています。
- ▶ そのびんを、回収して、**くり返し使えば使うほど、「ごみ」や「CO₂」などの環境負荷を減らすことができます。**
- ▶ 30年に及ぶ、生活クラブ生協による**びんリユースの取り組みは、未来につながるオルタナティブな“暮らし方の提案と実践”**と言えるのではないのでしょうか。
- ▶ 世界的にも、**SDGs達成貢献**が求められる時代になり、**一般の社会でもリユースが見直される**ようになりました。
- ▶ 今後も、「**ガラスびんという文化**」・「**リユースという暮らし方**」を大切にして、**真に持続する社会**を目指しましょう。

ご清聴ありがとうございました。



<https://binnet.org/>

<https://www.youtube.com/watch?v=eljlSE8QNw0>

<https://www.youtube.com/watch?v=URrnahq0C98>